



須坂市立小山小学校だより

令和5年9月15日

橋の子だより

橋の木のように 深く根を張り 幹太く 枝葉豊かな人

No.6 文責：教頭

須坂市立小山小学校

「ことばあり」 (9月13日校長講話より)

「ことばあり」

この言葉をどこかで聞いたことはありませんか？
そうです。小山小学校校歌の中にある歌詞の一節
です。2番に出てきますね。

明治6年12月12日は小山小学校の誕生日です。
止善学校という名前でスタートし、昭和22年に
小山小学校になりました。校歌ができたのは、その
6年後の昭和28年です。創立80周年を記念し
てつくられました。作詞は、石森延男先生です。

石森先生は国語学者で、国語の教科書をつくる
仕事に関わっていました。また、国語をどう
教えたら良いのか、国語学習で大切なことは何
かなどを全国の先生たちに教える仕事をされて
いました。60歳のとき、「コタンの口笛」とい
うアイヌを主人公とした小説を書き、映画にも
なりました。

こんなに有名な石森先生が、小山小学校の子
どもたちのために、とてもすてきな歌詞を書い
てくださったのです。

「ことばあり きょうも学ぼう」の一節は、
石森先生の「言葉を大事にしてほしい」という
願い、「ことばを上手に使って学んでほしい。
人と交流してほしい。話し合って深めてほしい」
という思いが込められているのではないかと思
います。

ところで、ことばってなんでしょうか。校長
先生が調べてみたところ、「人が声に出して言
ったり文字に書いて表したりする、意味のある
表現。言うこと」「物の言い方、口ぶり、語気
(話す言葉の調子)」とありました。

ことばの使い方は、いろいろありますね。話
す言葉、書く言葉、人に伝える言葉、歌って伝
える言葉などです。その中には、わかるようには
っきり言う言葉や親切にやさしく言う言葉、
おこってどなって言う言葉などがあります。
そんな言葉はいやですね。

小山小学校 校歌

2番

「つくるなき 千曲の流れ

ことばあり きょうも学ぼう」

石森 延男 先生

国語学者

- ・国語の教科書をつくる仕事
- ・国語をどう教えたら良いのか、
国語学習で大切なことは何か、
全国の先生たちに教える仕事
- ・60歳で「コタンの口笛」という
アイヌを主人公とした小説を書
き、映画にもなる

「ことばあり きょうも学ぼう」

○「言葉を大事にしてほしい」という願い

○ことばを上手に使って

- ・自ら学んだり、学び合ったりしてほしい。
- ・人と交流してほしい。
- ・話し合って深めてほしい
という思い

「ことばの使い方」

○話す言葉、書く言葉、人に伝える
言葉、歌って伝える言葉・・・

- ・わかるようにはっきり言う言葉
- ・しんせつにやさしく言う言葉
- ・おこって、どなって言う言葉

自分の頭で考えた言葉は、自分の耳が一番先に聞きます。相手に言ったつもりでいますが、自分にも言ったことになるのです。だからこそ、自分の思いを自分の言葉で伝えましょう。気持ちの良い言葉を使いましょう。正しい日本語を使いましょう。

中国のあるお坊さんの言葉を紹介します。

『言葉は心』

一つの言葉で けんかして
一つの言葉で なかなおり
一つの言葉で 頭がさがり
一つの言葉で わらい合い
一つの言葉で なかされる

一つの言葉とはどんな言葉でしょう。

みなさんは、どういうときにどんな言葉が出てきますか。各クラスでぜひ考えてみてください。そして、教えてくださいね。

「ことばあり きょうも学ぶよ」をいつも口ずさみながら、学びの教室を全校でつくりましょう。

<保護者の皆様へ>

①10月24日(火)、25日(水)の下校時刻について

10月24日(火)、25日(水)は、外部からの講師の先生方や参観者の方々にご来校いただき、本校の授業公開を行います。そのため、下校時刻を次のように早めさせていただきます。公開授業を通して学ばせていただいたことを日々の授業につなげていきたいと考えていますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

10月24日(火)	全学年5時間授業	14:55下校
10月25日(水)	全学年4時間授業(給食あり)	13:50下校

②11月15日(水)150周年記念音楽会、記念式典の登下校について

音楽会と式典をメセナホールで行います。そのため、メセナに家が近い、保護者がメセナに送っていく等の理由で、メセナへ直接登校したり、メセナから下校したりする児童を把握したいと考えています。後日配付の家庭通知に切り取り式のアンケートがありますので、担任へご提出ください。学校へ登校・学校から下校する児童につきましては、職員が引率してメセナへ徒歩で移動します。また、前日は準備やリハーサルがありますので、前日の登下校につきましても、アンケートをとらせていただく学年があります。

徒歩でメセナに集合・解散する児童の登下校につきましては、担任が通る道の危険箇所や安心の家を児童と確認し、交通安全を徹底いたします。ご理解・ご協力をお願いします。

○自分の頭で考えた言葉は、自分の耳が一番先に聞きます。
○相手に言ったつもりでいるけれども、自分にも言ったことになるんです。

だからこそ、

- ・自分の思いを自分の言葉で伝えましょう
- ・気持ちの良い言葉を使いましょう
- ・正しい日本語を使いましょう

『言葉は心』(中国のある僧の言葉)

一つの言葉で けんかして
一つの言葉で なかなおり
一つの言葉で 頭がさがり
一つの言葉で わらい合い
一つの言葉で なかされる

「ことばあり きょうも学ぶよ」をいつも口ずさみながら、学びの教室を全校でつくりましょう。

